

令和2年8月22日の大雨に関する 愛知県気象速報

目次

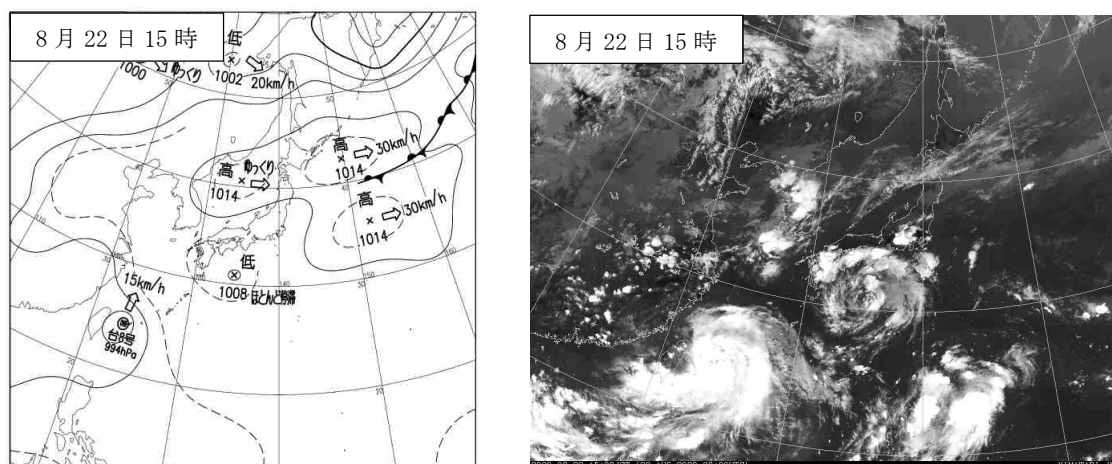
- 1 気象概況
- 2 大雨の状況等
- 3 発表情報

令和2年8月24日
名古屋地方気象台

注：本資料は速報として8月22日24時までの状況を取りまとめたものです。
後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

1 気象概況

本州付近は高気圧に緩やかに覆われ、愛知県は午前中晴れて気温が上昇した。一方、西日本から東日本の上空およそ6,000メートルには氷点下6度以下の寒気が流れ込んでいた。日射による気温の上昇や上空の寒気により、大気の状態が非常に不安定となったため、愛知県では雷を伴って猛烈な雨が降り大雨となった所があった。

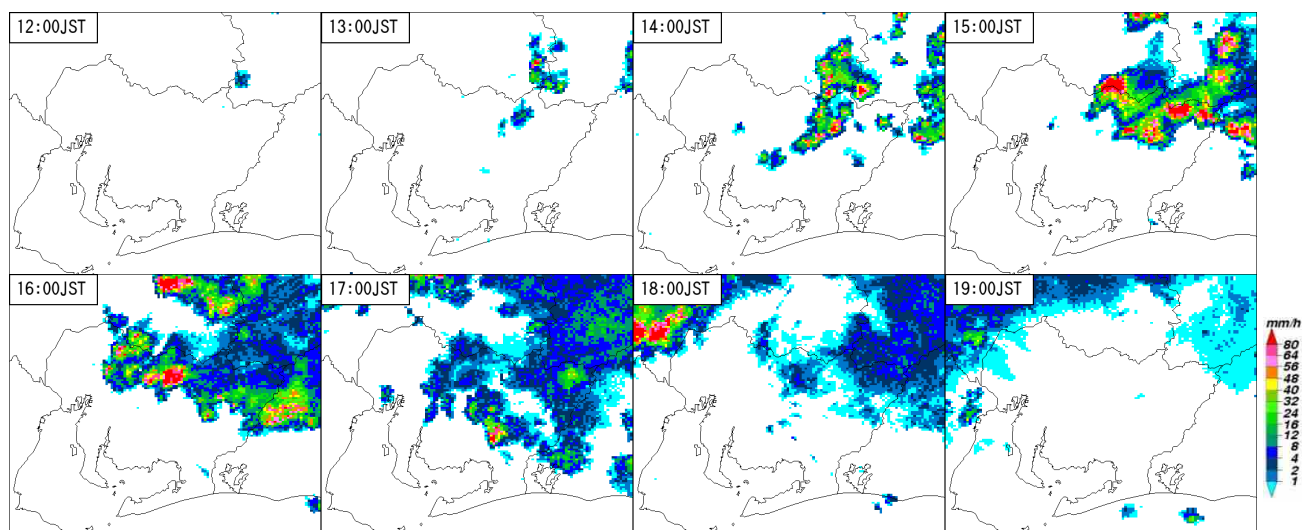


8月22日15時の地上天気図（左）と気象衛星赤外画像（右）

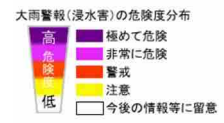
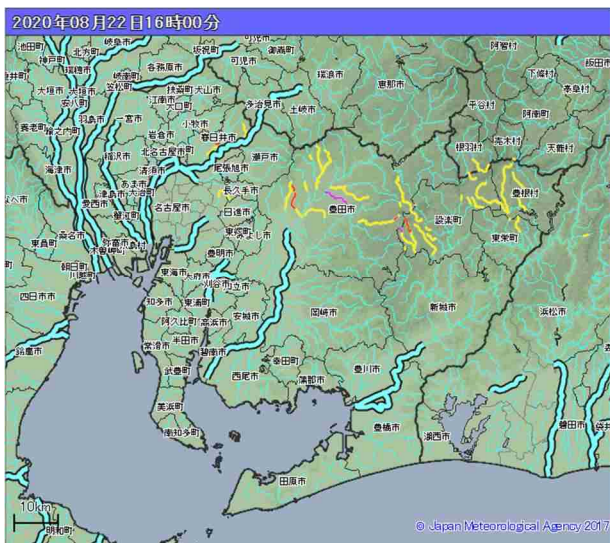
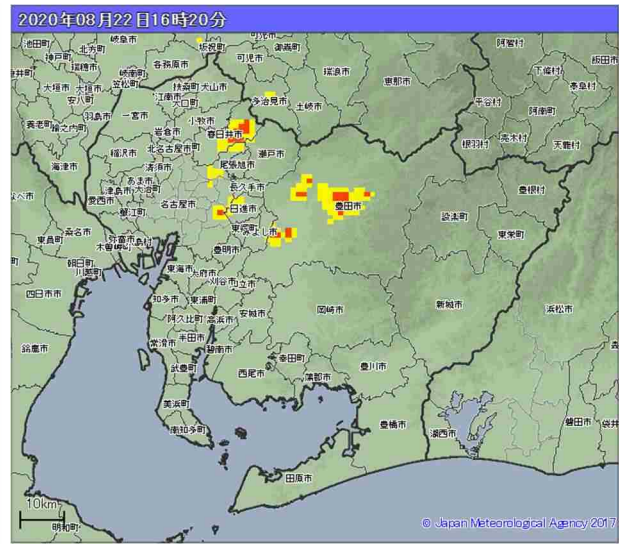
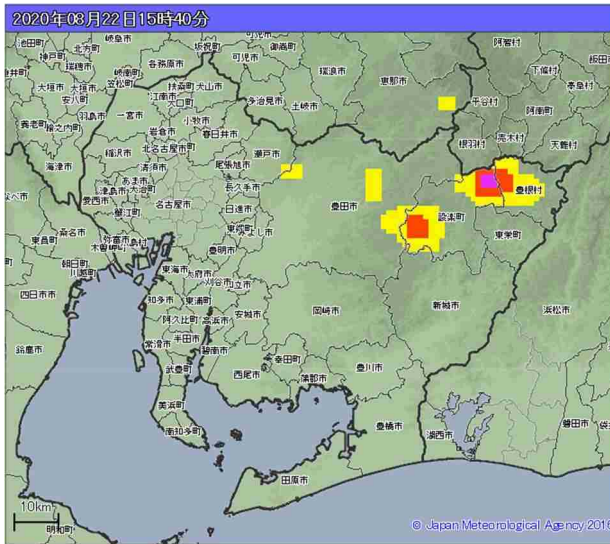
2 大雨の状況等

愛知県では、8月22日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけて積乱雲が発生し、西三河北西部から東三河北部を中心に非常に激しい雨が降り、一部で猛烈に降った所があった。これにより土砂災害・浸水害・洪水害の危険度が高まった市町村に大雨警報（土砂災害）〔警戒レベル3相当〕、大雨警報（浸水害）、洪水警報〔警戒レベル3相当〕を発表した。また、アメダス茶臼山では日最大1時間降水量の8月としての第1位を更新した。

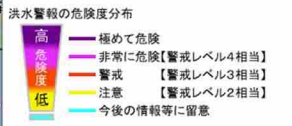
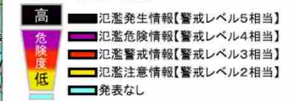
※アメダス茶臼山の統計開始は2006年5月。



レーダーエコー合成図(8月22日12時00分～19時00分)



指定河川洪水予報
 国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると思われるときに発表。



上段左:大雨警報(土砂災害)の危険度分布(15時40分)
 上段右:大雨警報(浸水害)の危険度分布(16時20分)
 下段左:洪水警報の危険度分布(16時00分)

